

会 議 録

会議の名称	令和6年度 和泉市子どもの読書活動推進協議会
開催日時	令和7年3月12日(水) 14時～15時25分
開催場所	和泉市役所 本館3階 3A・B会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会委員 小前委員、弓削委員、宮脇委員、前山委員、池邊委員 福井委員、戸出委員、前田委員、松尾委員、岸田委員</li> <li>・事務局 大槻教育長 生涯学習部：辻教育次長兼部長、前田生涯学習推進室長、 橋本生涯学習担当課長、和田生涯学習担当総括主幹、 堀田生涯学習担当総括主査、玉光主任、鈴木主事、河野主事</li> <li>教育・こども部：東部長、上田教育指導監、阪下学校教育室長、 柴田学校教育室参事</li> <li>和泉市立図書館：岩本和泉市立図書館統括館長、肥後和泉図書館長、 川岸シティプラザ図書館長、佐藤北部リージョンセンター図書 室長</li> <li>人権文化センター図書室：猪上主任</li> </ul>
会議の議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 会長及び副会長の選任について</li> <li>(2) 令和6年度以降の計画の進行管理、協議会のあり方について</li> <li>(3) 令和5年度事業報告について</li> <li>(4) 令和5年度数値目標の実績について</li> <li>(5) 令和6年度読書関係のコンクールの実施状況について</li> </ul>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他( )
その他の必要事項 (会議の公開・非公開、傍聴人数等)	会議：公開 傍聴人：なし

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
事務局	<p>【開会挨拶】</p> <p>【教育長挨拶】</p> <p>【出席委員、事務局職員紹介】</p> <p>【委嘱状及び辞令の交付】</p> <p>本日の会議は、委員13名中、10名様のお出席をいただいております。和泉市子どもの読書活動推進協議会規則第6条第2項の規定により、過半数に達しておりますので、当会議は成立してまいりますことをご報告申し上げます。</p> <p>続きまして、次第の4. 議事（1）に入らせていただきます。</p> <p>会長及び副会長の選任につきまして、和泉市子どもの読書活動推進協議会規則 第5条第1項にて、協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める、と規定されております。どなたか、立候補またはご推薦はございませんでしょうか。</p>
委員	事務局に一任させていただきたいと思っております。
事務局	事務局一任のご意見が出ておりますが、賛成の方は、拍手でもって確認させていただきます。
委員	～拍手～
事務局	ありがとうございます。それでは、会長と副会長を事務局より指名させていただきます。会長に大阪市立中央図書館利用サービス担当課長も務められた経験もお持ちで、図書館業務に精通されております、神戸親和大学の 小前恭則 委員、副会長に中学校教育研究会図書館教育部会顧問であり、学校図書館に精通されております、池邊佳寿宏 委員をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。皆様の拍手でもって確認させていただきます。
委員	～拍手～
事務局	ありがとうございます。全会一致で、会長に 小前恭則 委員、副会長に 池邊佳寿宏 委員を選任させていただきます。
	小前会長、池邊副会長、前のお席へ移動をお願いいたします。
	それでは、小前会長、就任にあたりまして、ひと言ご挨拶をお願いいたします。
会長	【会長挨拶】

事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>誠に恐縮ではございますが、大槻教育長、東部長、上田教育指導監 は次の公務のため、これをおもちまして退席とさせていただきます。ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>ここからの進行につきましては、和泉市子どもの読書活動推進協議会規則第6条第1項の規定に基づきまして、小前会長に議長として議事進行をお願いいたします。</p> <p>小前会長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、議事を進めさせていただきます。</p> <p>次第の4、議事の(2)令和6年度以降の計画の進行管理、協議会のあり方について事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>事務局より、議事2につきまして、ご説明いたします。失礼して、着座にてご説明いたします。</p> <p>まず、資料が飛んでしましますが、本日追加で配布いたしました「資料番号7」をご覧ください。</p> <p>本協議会は1年に1回の開催であり、また、今回から新たに委員になられた方も多くいらっしゃいますので、まず初めに、確認も兼ねて、昨年度開催いたしました本協議会における協議内容について、ご報告いたします。</p> <p>こちらの資料は、昨年度の会議における委員の皆様からの主な質問事項と、事務局の回答内容をまとめたものでございます。</p> <p>順番にご説明いたしますが、まず1つめは、『「子どもの読書活動推進計画」が『生涯学習・スポーツ推進計画』に計画が統合されたが、計画名称には『読書』という言葉がなくなっている』ということに関するご意見でございました。</p> <p>事務局の回答としては、新たな『生涯学習・スポーツ推進計画』においては、生涯学習やスポーツの中の、さまざまな項目の一つとして、『読書』という項目を置くという形で、計画を整理した。新たな計画では、生涯学習や読書、スポーツがバラバラに事業を展開するのではなく、横断的に連携することで、さらにそれぞれの施策の推進に繋げる目的で、ひとつの計画にまとめた。となっております。</p> <p>なお、この内容につきましては、後ほど、資料番号1の中で詳しくご説明いたします。</p> <p>続いて2番ですが、『公立図書館における電子書籍推進の取組みについて、説明いただきたい。』というものでした。</p> <p>事務局の回答としては、令和3年4月に公立図書館にて電子図書館を導入し、令和5年1月末時点のコンテンツ数が14,590点である。利用促進策として、3つの館において、市民向けに体験会を実施した。となっております。</p> <p>続いて、3番ですが、『学校図書館における司書の状況について、説明いただきたい。』というものでした。</p> <p>事務局の回答としては、平成12年度から有償ボランティアとして配置が始ま</p>

り、令和3年度からは職員として配置に変更した。また、年に3回、連絡協議会を実施し研修と情報交換を行っており、新任司書向けに、月1回自主的な研修も実施。

勤務体系としては、1日あたり休憩30分含む5時間半勤務で、年間187日の勤務日数である。となっております。

続いて、4番ですが、『コロナ禍にも関わらず、すすくすくタイムの参加人数が増加しているが、すすくすくタイムの事業内容はどのようなものなのか。』というものでした。

事務局の回答としては、すすくすくタイムは、小さなお子さま連れの方が気軽に図書館を利用できるような開放時間として設定したものです。事前申込みは不要で、誰でも参加可能であり、自由に絵本コーナー等に来ていただき、お子さんの声等を気にせずご利用いただけるもの。併せて、スタッフの読み聞かせ等も行っている。となっております。

続いて、5番ですが『市立図書館から市内小中校へ団体貸出しを行っているが、保育園・幼稚園への団体貸出しは可能か。』というものでした。

事務局の回答としては、保育園・幼稚園から依頼があれば、団体貸出しは可能である。となっております。

続いて、6番ですが『和泉市中学校POPコンクールの応募数が前年より増加しているが、どのような要因があったのか。また、POPコンクールにおいて、調べる学習コンクールのように、市で入選した作品が、府や国の大会に出場できるような仕組みはないのか。』というものでした。

事務局の回答としては、夏休みの宿題などで、中学校全体で取り組んでいた学校もあり、応募数が大幅に増加した。また、POPコンクールについては、府や国の大会に出場できるような仕組みはなく、市独自の取り組みである。となっております。

以上が令和5年度子どもの読書推進協議会における主な質問事項のご説明でございます。

続きまして、「資料番号1」をご覧ください。

続いて、今後の読書振興に係る計画に基づく進行管理の手法と、本協議会のあり方について、ご説明いたします。

資料の文章だけでなく、右側の「進行管理のイメージ」も併せてご覧いただければと存じます。本協議会の役割としては、本市の読書施策に係る計画に基づいて、読書振興施策について、協議及び進行管理をしていただくこととなりますが、本市の読書関係の計画につきましては、2つの計画がございます。1つは計画期間が令和5年度末で終了した「子どもの読書活動推進計画」と、もう1つは計画期間が令和5年度から始まる「生涯学習・スポーツ推進計画」でございます。

このように、令和5年度末で終了する計画と、令和5年度から始まる2つの計画があることから、令和5年度のみ2つの計画が重複することとなり、進行管理の考え方が異なりますので、具体的にご説明いたします。

まず、令和4年度までの事業につきましては、子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもの読書環境充実に向けた施策について、本協議会でご協議いただいていたところでございます。

なお、同計画の進行管理につきましては、計画内において20項目の数値目標を設定し、進捗状況の確認を行っております。

続きまして、令和5年度事業につきましては、前述のとおり、2つの計画に基づき読書振興施策に関するご協議及び進行管理等を行います。

1つ目の、子どもの読書計画は、令和4年度までと同様に20項目の数値目標に基づき、進行管理等を行います。

2つ目の、令和5年度に策定いたしました「生涯学習・スポーツ推進計画」は、新たに5項目の数値目標を設定しており、これに基づき、進行管理を行います。

今回の協議会では、後ほど、令和5年度の事業報告をいたしますので、「子どもの読書計画」と「生涯学習・スポーツ推進計画」の2つの計画に基づき、進行管理・協議を行っていただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、令和6年度以降の事業につきましては、「子どもの読書計画」が令和5年度末を持って計画期間が終了し、「生涯学習・スポーツ推進計画」に統合されることから、同計画に位置付けられた5項目の数値目標に基づき進行管理等を行う形となります。なお、「子どもの読書計画」に位置付けられた20項目の数値目標につきましては、参考資料として、今後も推移を追いかけていく予定でございます。

また、新たな「生涯学習・スポーツ推進計画」においては、子どもの読書だけでなく、世代を限定しない読書振興施策が位置付けられていることから、本協議会においては、今後は、子どもの読書だけでなく、全ての世代を対象とした読書振興施策について、協議及び進行管理を行っていただきたく存じます。なお、本協議会の名称や委員構成につきましては、今後も継続させていただきます。

最後に、資料の下部には、参考として、「生涯学習・スポーツ推進計画」における読書振興施策の位置づけを記載しております。

当該計画においては、読書関係の施策として、「読書・学習支援体制の充実」と「子どもの読書活動の推進」の2点が位置付けられております。

それら施策の進行管理として、数値目標を設定してございまして、市立図書館の貸出点数や、市立図書館の実利用者率や蔵書点数等を位置付けており、今後も進行管理をおこなっていくところでございます。

以上で、議事（2）令和6年度以降の計画の進行管理、協議会のあり方についてのご説明を終わります。

会長

ただいまの説明について、ご意見・ご質問等ございませんか。

資料番号7で前年度の会議について主な質問事項について、確認できたと思います。次年度も継続して行っていきたく思います。

事務局

また、令和6年度以降の事業につきましては、「子どもの読書計画」が令和5年度末を持って計画期間が終了し、「生涯学習・スポーツ推進計画」に統合されることから、同計画に位置付けられた5項目の数値目標に基づき進行管理等を行う形になるということです。委員の皆様よろしく申し上げます。

続きまして、議事(3)令和5年度の事業報告について、及び(4)令和5年度の数値目標の実績について、事務局より説明願います。

事務局より、令和5年度の事業報告につきまして、ご説明いたします。

資料番号2「令和5年度新規・継続取組事業」をご覧ください。この資料は、令和5年度に各部署にて新規及び継続して行った事業をまとめたものでございます。

はじめに、1ページの目次をご覧ください。2ページから7ページまでが、各図書館で、新規に行った催(もよお)しの詳細について記載したものでございます。合計15個の事業を新規に行いました。

次に、8ページから14ページまでが、各部署と図書館で継続して行っている事業について記載したものでございます。合計76個の事業を継続して行っております。

続きまして、2ページから7ページをご覧ください。その中で、新規事業としまして、2ページに記載の電子図書館出前講座を開催しました。電子図書館を使ったことのない児童に体験してもらい、家の中でもスマートフォンやタブレットで読書することができるよう、電子図書館の利用の促進を目指すため、開始しました。

続きまして、8ページから14ページをご覧ください。その中で、継続事業としまして、9ページに記載の中高生向け講演会として開催した金原(かねはら)瑞人(みずひと)氏の講演会&サイン会、親子向け講演会として開催した真珠まりこ氏のおはなし会&サイン会や一般向け講演会として開催した塩田(しおた)武士(たけし)氏の講演会&サイン会を実施し、参加された方には大変好評を得る講演会になりました。

今後も、子ども達などの読書活動促進につながるような取組みを実施してまいりたいと考えております。

以上で、令和5年度 事業報告 についての説明を終わります。

続いて、令和5年度 数値目標の実績につきまして、ご説明いたします。

資料番号3 令和5年度 数値目標実績 (子どもの読書活動推進計画) をご覧ください。

和泉市子どもの読書活動推進計画に掲げられている20項目の数値目標につきまして、令和5年度の実績を記載しております。

それでは、主なものを抜粋してご説明いたします。

No2をご覧ください。先ほど説明がありました「すくすくタイム」の参加人数です。平成29年度以降で最多の1,161人となりました。No11、市立図書館における子どもの定例行事参加者数につきましても、前年度より52人増の1,664

人となりました。

他の項目につきまして、No7、自宅での小学6年生不読者率、自宅で1か月に1冊も本を読まなかった割合が33.7%、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度以降、30%台の不読者率が続いており、おおよそ3分の1の児童が本を読んでいないという結果になりました。原因としましては、スマートフォンの普及によりインターネット閲覧、SNS、動画視聴などに費やされる時間が増えたこと、部活動や塾、習い事等の活動に時間が割かれていることと推測されます。

次に、No15から18に記載している市立図書館利用者率、令和5年度に図書館で図書等の貸出を行った子どもの割合につきまして、No17、中学生の市立図書館利用者率は、前年度から減少しています。No15、「子どもの市立図書館利用者率」として示しております18歳以下の子ども全体の割合、No16、小学生の市立図書館利用者率、No18、高校生の市立図書館利用者率は、いずれも前年度と比べ、増加したものの、目標数値には届かないという結果となりました。

行動制限の緩和に伴い、催し物への参加は増えたものの、実際に図書等を借りる人は減少しているという状況です。令和3年度に一時回復が見られましたが、まだまだ公共施設離れは続いており、戻ってくるまでには時間がかかるものと推測されます。

続きまして、資料番号4をご覧ください。和泉市生涯学習・スポーツ推進計画に「読書活動の推進」として掲げられている5項目の数値目標につきまして、令和5年度の実績を記載しております。

先ほども説明させていただきましたとおり、この計画では、子どもだけでなく、全ての世代の読書状況について、進行管理を行うものとなっております。

それでは、各項目の数値実績についてご説明いたします。

まずNo1、市民1人あたりの市立図書館貸出点数です。前年度と同様、目標値には1ポイント届かないという状況です。

次にNo2と4、市民全体の「市立図書館実利用者率」と18歳以下の「子どもの市立図書館利用者率」については、共に前年度を上回ることができました。

No3、市民1人当たりの市立図書館の蔵書点数についても前年度を上回っております。

No5、自宅での小学6年生不読者率については、前年度を上回る結果となりました。

なお、項目No4と5は、先ほどの子どもの読書活動推進計画でも数値目標として設定しておりました。

以上で、令和5年度 数値目標の実績の説明を終わります。

会長

ただいまの説明について、ご意見・ご質問等ございませんか。

新規事業として、にじのとしょかんで開催された「昆虫図鑑ができるまで」が、現在スマートフォン等で手軽に検索できる時代に、講師の方を招き、実際に生きた昆虫を観察し手に取って体験できるというのは、子ども達に大変良い経験になったのではないかと思います。

事務局	次に、数値目標の実績ですが、矢印の色が青と赤で分かれています。何か意図があるのでしょうか。
事務局	増減の矢印の色を、改善されたものを赤、悪化したものを青にしております。
会長	分かりました。 また2点お伺いいたします。
事務局	1点目、不読者率についてですが、いずれも目標に達していないのは、スマホの普及などが影響していると思います。最近では、紙の本に限らず電子書籍で読む場合もあります。電子書籍はこの統計では含まれていますか？
事務局	いいえ、紙の本に限られております。
会長	分かりました。 2点目、学校図書標準の達成について、小学校90%、中学校80%と目標の小学校67%、中学校70%を大きく超えています。ただし、これは図書目標でなく、図書標準ですので、100%達成されることが求められますので、引き続き蔵書の充実に努めていただきたいと思います。また、蔵書が積み重なった9000冊でなく、古いものを廃棄し、新しい本に更新して達成すべきものと考えます。また、授業支援のために必要な資料の充実も求められています。学校図書館の蔵書充実に対する取り組みなどございましたら、ご報告お願いいたします
事務局	令和5年度で小学校の図書受入れ冊数が約6,600冊、廃棄冊数が約4,600冊、中学校の図書受入れ冊数が約12,000冊、廃棄冊数が約8,000冊となっており、廃棄も進めながら、新規受入れも行い蔵書の充実に努めております。
会長	分かりました。今後も引き続き蔵書の充実に努めて下さい。 続きまして、議事の(5)令和6年度読書関係のコンクールの実施状況について、事務局より説明願います。
事務局	はい、事務局より、令和6年度に実施しました読書関係のコンクールにつきまして、ご説明いたします。 本年度は、読書にかかわる3つのコンクールを実施いたしました。 まずは、図書館を使った調べる学習コンクールについて、ご説明いたします。資料番号5「図書館を使った調べる学習コンクールの実施状況について」をご覧ください。 和泉市図書館を使った調べる学習コンクールは、当コンクール実行委員会が主催で、今年度が9回目の開催となりました。 このコンクールは、身近な疑問や興味を持ったことなど、各自で自由にテーマを決めて、公共図書館や学校図書館の資料を活用して詳細を調べ、それをまとめあげた作品を募集するというものでございます。図書館の利用促進はもち

ろんのこと、自らの疑問を解決し、答えを導き出したときの楽しさ・充実感を子ども達自身に実感してもらい、学び続ける姿勢、解決策やアイデアを生み出していく力を育む機会となることを、目的としております。

今年度は101点の応募があり、その中から部門ごとに入賞作品を選出いたしました。そして、特に優秀と認められた作品2点を、公益財団法人図書館振興財団主催の全国コンクールに推薦いたしました。

次に、応募状況等につきまして、資料番号6の裏面をご覧ください。第1回目の地域コンクールからの応募状況でございます。今年度は応募総数が前年度より大幅に上回ることとなり、過去最高の応募数になりました。なお、市立図書館では調べ学習ミニ講座や調べ学習出前講座を毎年実施しており、調べ学習の基礎をレクチャーして、受講者のコンクール応募につなげるといった取り組みを行っております。

次に、下の、過去の全国コンクール推薦作品一覧をご覧ください。先ほど申し上げましたように、特に優秀な作品を全国コンクールに推薦・応募したところ、いずれの作品も「奨励(しょうれい)賞(しょう)」または「佳作」に入選しており、今年度も2作品共に「佳作」に入選しました。なお、令和6年度は全応募作品数が123,541点で、そのうち入賞した点数は、優良(ゆうりょう)賞(しょう)が139点、奨励(しょうれい)賞(しょう)が275点、佳作が1,385点となっております。

以上で、図書館を使った調べる学習コンクールについての説明を終わります。

引き続きまして、和泉市小学生読書おたよりコンクール、中学生POPコンクールについて、ご説明いたします。資料番号6「令和6年度 和泉市小学生読書おたよりコンクール、中学生POPコンクールの実施状況について」をご覧ください。

こちらのコンクールは、和泉市教育委員会が主催となり、今年度が4回目の開催となります。

小学生読書おたよりコンクールは、本を読んで感動したことや印象に残ったことなどを、絵と文章で、お手紙の形式で表現した作品を募集いたしました。中学生POPコンクールは、お気に入りの本やおすすめの本を、絵と文章で紹介するPOP作品を募集しました。

公共図書館・学校図書館の利用促進はもちろんのこと、児童・生徒が本に親しみ、読書への関心を高める機会となることを、目的としております。

今年度は小学生読書おたよりコンクール低学年の部に44点、高学年の部に124点、中学生POPコンクールに185点、合計で353点の応募があり、その中から部門ごとに入賞作品を選出いたしました。

なお、入賞作品は、12月に和泉図書館、シティプラザ図書館、北部リージョンセンター図書室を巡回展示し、多くの市民の方々にご覧いただきました。また、いずれのコンクールも、マクドナルドフランチャイジー株式会社フルライフ様に特別協賛をいただき、副賞のマックカードをご提供いただきました。

次に、応募状況等につきまして、資料番号8の裏面をご覧ください。各コン

	<p>クールのこれまでの学年別の応募状況でございます。小学生は、令和6年度は前年度に比べて低学年・高学年ともに応募が減ったものの、中学生は前年度に比べて応募が17点増加いたしました。</p> <p>小学生の作品は、本を読んで感じたこと、伝えたいことがお手紙という形で生き生きと表現され、子ども達の素直な心を窺い知ることができました。イラストも絵具や貼り絵など工夫を凝らした作品がたくさんございました。</p> <p>中学生の作品は、全体的にPOPとしての完成度が素晴らしく、目を惹く文章とイラストで、この本を読みたいと思えるような作品がたくさんございました。</p> <p>来年度以降も、多くの児童・生徒に興味を持ってもらい、読書意欲の推進につながるよう、周知に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>以上で、和泉市小学生読書おたよりコンクール、中学生POPコンクールについての説明を終わります。</p>
会長	<p>ただいまの説明について、ご意見・ご質問等ございませんか。</p> <p>最期にですが、改めて市立図書館で実施している電子図書館についてご説明ねがいます。</p>
事務局	<p>はい、事務局よりご説明いたします。</p> <p>電子図書館は令和3年度から開始したサービスで、令和6年2月末現在の電子書籍のコンテンツ数は15,388点で、令和5年度末時点のコンテンツ数14,894点でおおよそ500点ほど増加しております。貸出に関しましては、令和5年度と対比して97%になっており減少しておりますが、18歳以下の利用のみですと、107%と増加しております。</p> <p>議事(3)令和5年度の事業報告でありました、学校へ出向く電子図書館出前講座も来年度も継続して行い、周知に努めて参ります。</p> <p>また、地域の商業施設・大学へも出向き出張電子図書館体験会も行い、来年度も継続して行い、周知に努めて参ります。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に学校図書館についてご説明ねがいます。</p>
事務局	<p>はい、事務局よりご説明いたします。</p> <p>全小中学校、義務教育学校に学校図書館司書1名を配属しております。小学校、義務教育学校前期課程で読み聞かせを実施、全小中学校、義務教育学校で調べ学習等の授業を通して必要な書籍のレファレンスを行う等、教育活動にも協力を得ております。勤務日数ですが、令和6年度200日に増やしており、児童らが学校にいる時間にはできるだけ図書館を開けられるようにしていただいております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>

	<p>続きまして、議事の（６）「その他」として、事務局から何かありますか。</p> <p>それでは最後に、本日ご出席いただきました委員の方々から、読書に関する取組み、ご意見、ご感想などがございましたら、おひとりずつお願いします。すみませんが時間の都合上、おひとり1,2分程度でお願いします。</p>
委員	<p>和泉市読書おたよりコンクールについて、低学年の部が令和５年度118人の応募が、令和６年度には44人と大幅に減少していますが、理由はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>課題として提出していただいている学校があるのですが、今年度には課題にはしていない、または応募する学年数を減らす等の理由が主になります。</p>
委員	<p>不読者率のお話が出ておりましたが、子どもたちは、漫画等はたくさん読んでおり、読書自体を嫌いになったわけではないと思います。報告にもあります、中庭でおはなしかい等、子どもたちが集いやすい読書をする場所づくりが大切だと思います。</p>
委員	<p>図書館で読み聞かせを行っておりますが、子どもたちに本を選んでもらい私たちが読み聞かせを行っております。読み聞かせ後、絵本等に興味を持っていただき、そのまま図書館で本を借りていく子どもたちをたくさん見かけます。</p> <p>中学校へ行く機会もあり、図書館へ足を運ぶ機会があったのですが、新刊が揃っている等蔵書が充実しておりますので、図書館へ行かずとも自分の学校でも書籍が借りれることをもっと学校図書館司書のみなさんが、上手にPRできればなと思います。</p>
委員	<p>「読書」ときくとすごくハードルが高いことになっておりますが、学習漫画、雑誌やゲームの攻略本等色々なジャンルの書籍があるので、ハードルをさげていくことが必要なのではないのでしょうか。</p> <p>図書館司書の価値をもっと広く市民に周知するべきだと思います。</p>
委員	<p>学校図書館司書の勤務日数が増加したことは大変ありがたいのですが、勤務時間が短いことがすごく残念です。</p> <p>蔵書数ですが、大阪府ではワースト３位と伺っております。先ほど報告にもありました、学校図書館図書標準が和泉市内では90%と高い水準を保っており、100%を目指して今後も継続して蔵書の充実に努めてほしいです。</p> <p>現在では、児童の中には「日本の昔話」を知らない子もいます。地域の本屋も減少していく中、本と触れ合う機会が減少している中、学校と公立図書館がより連携して子どもたちが本を読む機会を増やすべきだと思います。</p>
委員	<p>幼稚園では地域の方々に支えられながら園児たちが本と触れ合う機会を設けております。園児たちが読みたい本を読み、本に興味を持ってもらい、本を</p>

委員	<p>通してコミュニケーションをとることを大事に過ごしております。</p> <p>乳幼児期から本と触れ合う機会を設けており、1～2歳に関しては擬音語が多い絵本を読んで音から絵本を取り入れて読むようにしております。月に2回絵本の貸出しを行う等、保護者へのアプローチも実施しております。</p>
委員	<p>現状、漢字が読めない生徒を多数見受けられます。私が図書室を担当したのが4年前でして、当時年間来室数が140名程でした。図書室に本を読むためではなく、ホッと一息つける場所にしたいと申しまして、畳を敷いてもらいました。元々工業高校でしたので、機械系などの堅苦しい本ばかりだったので、まずは本を手にとってもらおうということで、漫画や絵本を多数揃えていただきました。最初は休憩しに来ていた生徒が段々と本を手にとってくれるようになり、来室数も増加しております。</p>
副会長	<p>中学生になると、やはり本を読む生徒が統計的にも少なくなっております。大人になってみると、本を読む大切さが、私自身、身に染みております。どうか生徒に本を読む習慣、環境を整えていけるよう努めて参ります。</p>
会長	<p>委員の皆さん、どうもありがとうございました。今回もそれぞれの立場から、様々なご意見をお聞かせいただきました。</p> <p>それでは以上で、進行を事務局に戻させていただきます。</p>
事務局	<p>小前会長、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様のお陰をもちまして、令和6年度 和泉市子どもの読書活動推進協議会 を終えることができ、厚く御礼申し上げます。</p> <p>今後とも本協議会へのご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>お車でお越しの方がいらっしゃいましたら、こちらで駐車券をお渡しいたしますので、お声かけください。</p> <p>本日は、ご出席いただきまして、誠にありがとうございました。</p>